

がつ ど い り ん ぼ か ん  
5月 土居隣保館カレンダー



にち日	げつ月	か火	すい水	もく木	きん金	ど土
				1 ｽｰｲｱｯﾌﾟ 10:00~	2	3 けんぽうきねんひ 憲法記念日
4 みどりのひ	5 こどものひ	6 ふりかえきゅうじつ 振替休日	7	8 ｽｰｲｱｯﾌﾟ 10:00~	9 あいりんれん 愛隣連 じょせいぶそうかい 女性部総会	10
11	12 クラフト バンド教室 10:00~	13	14	15 ｽｰｲｱｯﾌﾟ 10:00~	16 りんぼかんれんらく 隣保館連絡 きょうぎかい 協議会	17
18	19	20	21 じんけんざだんかい 人権座談会 18:30~	22 ｽｰｲｱｯﾌﾟ 10:00~	23	24 もっこうきょうじつ 木工教室 10:00~
25	26	27	28 あいりんれん 愛隣連 しんにんしゅけんしゅう 新任者研修	29	30	31

りんぼかん じんけんそうだん しょくぎょうそうだん おこな  
隣保館では人権相談や職業相談を行っています

なや  
悩んでいることはありませんか？

りんぼかんは、いつでも人権に関わる悩みを相談できる窓口です。「職場でのハラスメント」、「職場や学校に行けない」など何でも相談してください。また、ハローワークの巡回相談(職業相談)を行っています。巡回相談は、電話による予約制となっています。



The Best Paper City

感謝、そして未来へ

ど い り ん ぼ か ん だ よ  
土居隣保館便り

ねん  
2025年  
5  
がつごう  
月号

はっこう ど い り ん ぼ か ん  
発行:土居隣保館 〒799-0703  
どいちょうふじわら  
土居町藤原5-400-3 TEL/FAX 28-6356

わたくし  
私が蒔いた小さな種

わたし  
私が蒔いた小さな種

ぶろくかいほう  
部落解放に願いと祈りをこめ

どこの片隅にそと

めぶ  
芽吹いているだろうか

せつかく芽吹いても

いじ  
意地の悪い遅霜に

いた  
痛めつけられては

いな  
いないだろうか

わたくし  
私はそれを待つて居る

た  
たとえ小さい花でも良い

はやくひら  
早く開いておくれ

ぶろくかいほう  
部落解放という

なまえ  
名前の花よ

こ  
出典「荊を越えて」江口いと

わたくし  
心優しい人の手に

みず  
水とこやしが施され

いつひ  
何時の日か美しい

はな  
花が開くであらう

えぐち  
江口いとさんの詩「私が蒔いた小さな種」です。人それぞれ解釈は違うと思いますが、

わたし  
私は、いとさんが蒔いた小さな種が私だとしたら、きちんと花になっているだろうか。

はな  
花を咲かせた後に、仲間という種を残せているだろうか。と考えさせられました。

いま  
今は、いとさんの意思を継ぐ人がたくさんいます。人それぞれ顔が違うように考え方は違っても、差別を許さないといういとさんの意思を継ぐ仲間をもっともっと増やし、たくさんの花を咲かせていきたいと思っています。

## かんちょう こうたい 館長が交代します

たいにん  
退任の あいさつ 藤田 千恵子



このたび、3月31日をもって館長を退任させていただくことになりました。その間、地域の皆様には、隣保館活動へご理解ご協力をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。3年前に隣保館に勤めるようになってから、懐かしい出会いや新しい出会いがあり、充実した毎日を送ることができました。また、座談会やお茶会などを通していろいろな話を聞かせていただき、たくさんの学びがありました。

館長は退きますが、隣保館で出会ったご縁を大切に、これからも多くの人と交流を続けていきたいと思えます。そして、全ての人々が自分らしく豊かに生きていける社会の実現のために、私自身が学び続け、自分にできる行動をしていきます。3年間の隣保館での活動に感謝すると共に、これからも変わらずご指導いただけることを願っております。本当にありがとうございました。

ちゃくにん はしもと ひろのり  
着任の あいさつ 橋本 裕式



この春から当隣保館の館長をさせていただくことになりました。よろしくお願いたします。思い返せば今から40年前になりますが、私が北小学校で推進教員になった時、よく当隣保館を訪れたことを覚えています。そこには解放運動を頑張っていた人たちがいて、いつも笑顔で迎えてくださり、色々な話を聞かせてくださいました。差別を

無くそうとする強い思いと人間を大切にしようとする温かさを深く感じました。その後も今日まで差別を無くすために人と人のつながりを大切にする営みを沢山の先輩方が引き継いでられました。

私も先輩方から学ばせていただいたことを心に刻み、誰にとっても生きる幸せを実感できる故郷になることを目標にして活動したいと思えます。当隣保館がずっと大切にしてきた子どもたちの学びや交流をもっと充実したり、先生方はもちろんのこと地域の人たちとの交流の場として広げたりすることにも取り組みたいと思えます。私と高橋建太郎主事と山田留美主事補3人で当隣保館を盛り上げていきます。

いつでもお気軽にお越しください。お待ちしております。



## 「生きることは」～江口いとさん企画展示会～

江口いとさんが生まれ育った時代には、当たり前のように部落差別がありました。いとさんが生まれたのは大正元年です。残念ながら令和の時代になった今でも、部落差別で苦しんでいる人がいます。また、部落差別を知らない人もいます。部落差別は表面的には見えにくくなっています。見ようとしないと見えません。しかし、人権・同和教育の研修会に参加しても部落差別の問題を扱うことが少なくなっている気がします。色々な偏見や差別が存在しますが、どの問題も部落差別問題に繋がります。

## 土居隣保館では8月末ごろから「生きることは」～江口いとさん企画展示会～

を開催します。もう一度、部落差別の原点を見つめ直すきっかけになれば嬉しいです。

来月から2か月間、隣保館だよりで「江口いとさんの生き方」を紹介いたします。

しゅじ たかはしけんたろう  
主事 高橋建太郎